

平成27年11月25日

京阪線 深草駅～出町柳駅間で新型ATSの使用を開始します

～平成27年12月5日（土）始発列車より～

京阪電気鉄道株式会社（本社：大阪府中央区、社長：加藤好文）では、列車運行のより一層の安全性向上を図ることを目的として、平成27年12月5日（土）始発より京阪線の一部区間（深草駅～出町柳駅間）において多情報連続式自動列車停止装置（新型ATS）を使用開始することとなりましたのでお知らせします。

現在使用しているATSは、列車が所定の速度を超えた状態で2点の地上子間を通過した場合、非常ブレーキにより自動的に列車を停車させています。それに対して新型ATSは、地上装置から列車に伝送された情報と、車上データベースが持つ情報に基づき、列車の停止速度パターンを算出し、その速度と実際の列車速度を常時比較しながら制御を行います。上記に加え、踏切やホームでの異常にも対応する機能を有しており、従来にも増して運転保安度の向上を実現しています。詳細は下記のとおりです。

記

1. 使用開始日

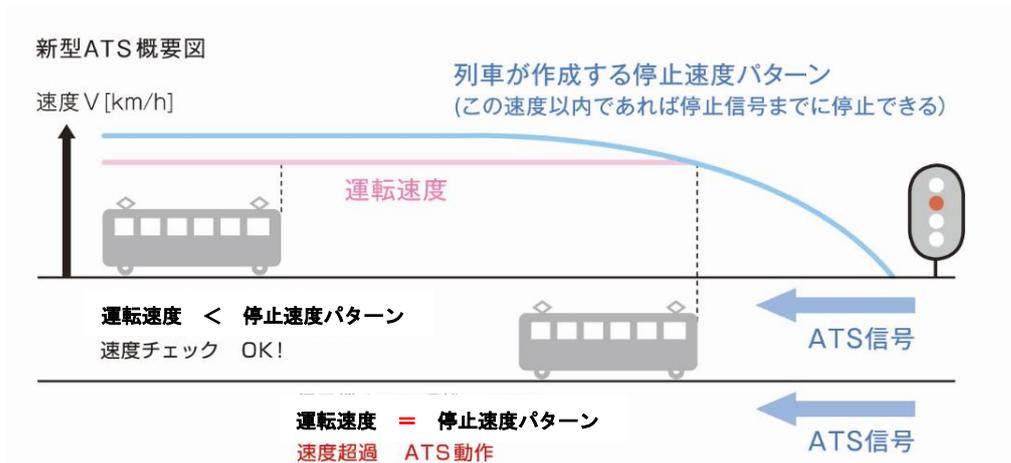
平成27年12月5日（土）始発列車より

2. 今回の使用区間

京阪線 深草駅 ～ 出町柳駅間

※京阪線全線における導入に向け、引き続き工事を進めてまいります

3. 新型ATSの概要



以上